

精愛園だより

みんな愛されたいと
思っています

三木精愛園・三木精愛園保護者会

兵庫県三木市緑が丘町本町2丁目3番地

TEL 0794-85-8791 / FAX 0794-85-5420

E-mail seiaien@helen.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.hwc.or.jp/seiaien>

カレーハウス moimoi

TEL 0794-84-1014



障害者政策の今後の動向と保護者の思い

三木精愛園保護者会副会長 岡山 生長

昭和57年8月1日、三木精愛園は定員50名の更生施設として開設されました。

ノーマライゼーションを推進すべく平成17年4月にグループホーム旧「ひまわりの家」を起ち上げ、その後も「えんどう豆の家」*、「そら豆の家」、「ピーナッツの家」、「ココナッツの家」、「うぐいす豆の家」と展開し、今年5月には新「ひまわりの家」が供用開始となりました。

さて2019年12月頃から続くコロナ禍では利用者、保護者、施設等に対して様々な制限がかけられ、障害者（児）を取り巻く社会的環境は楽観視できるものではありません。

またご承知のように2025年には65歳以上の高齢者が3600万人以上となつて日本の総人口1億2254万人の約30%を占めると言われ、生産年齢である15〜64歳の人達が高齢者を支える割合は現役世代2人に対して1人の高齢者となることが見込まれています。

間近に迫つた2025年問題に伴う社会保障費の急増と医療・介護の分野で示される行政の政策や方針からは保護者として目が離せません。

今後、私達保護者は障害者や高齢者が暮らす地域で、彼らが可能な限り残存する能力を活かし、自立した生活を送ることができるよう積極的に協力するとともに、医療・介護・日常生活支援などが包括的に確保される体制やネットワークづくりの整備・拡充にも注目していきたいと思ひます。

※現在は閉鎖しています。

三木精愛園の 主な取り組み

1 地域の元気を支える取組の展開

新型コロナウイルス感染症予防対策を行ったうえで、「カレーハウス noinoin」と地域交流室を地域住民に開放し、地域の各種団体と連携しながら、利用者や地域住民の「たまれる場」を提供していきます。

2 多様なサービスの充実と展開

利用者の高齢・重度化が進む中、ひとり一人に合ったケアが求められています。安全な移乗サービスが受けられ、職員の負担が少ない福祉機器を有効に活用していくために、ノーリフティングケアを推進していきます。

(1)ノーリフティングケアの定着と実践

先進施設での現場実習、おむつ講習会、外部研修への参加を推進し、利用者にとって負担のない移乗動作法を習得すると共に腰痛予防・離職防止に努めます。

(2)口腔ケアの充実

・ノーリフティングケア研修
・「なちゅは兵庫（リハケア東播磨）」研修
歯科衛生士と委託契約を結び、利用者に対するブラッシングと支援員への助言と指導を行い、誤嚥性肺炎予防等の口腔ケアを向上します。

3 堅実な運営の継続

業務の効率化をすすめて職員の仕事の働き方改革を行います。人材育成基本方針を基に、職員ひとり一人が働きがいを感じ専門性や資質の向上を目指せるよう、介護福祉士実務者研修、強度行動障害（行動援護）研修への参

加にも注力します。

(1)グループホームの充実

令和4年5月に老朽化した2ホームを閉めて、本体施設に隣接した土地に新グループホームを創設しました。利用者の高齢化・重度化に対応するとともに、世話人の勤務に2～5時間の短時間勤務を取り入れたり、業務分担の見直しをして働き甲斐のある職場づくりを推進します。

(2)経営基盤の安定・強化

利用率98%以上の維持及び日中活動の利用促進を図り、経営基盤の安定・強化につなげ、収支バランスを見極めた施設運営に努めます。

- ・転倒予防のためのリハビリテーションへの取り組み
- ・強度行動障害を有する利用者への支援の質の向上
- ・空床を利用した、短期入所の緊急時の受入
- ・生活介護事業（通所部）プログラムの充実

令和3年度

決算報告

収入の部	
勘定科目	決算額
障害福祉サービス等事業収入	563,248,932
受託事業収入	30,953,381
経常経費補助金収入	4,878,492
経常経費寄附金収入	1,000,000
過年度収入	149,686
その他の収入	1,354,057
就労支援事業収入	3,444,500
事業活動収入計(1)	605,029,048
積立資金取崩収入	33,939,000
拠点区分間繰入金収入	493,000
その他の活動収入計(2)	34,432,000
収入合計 (1)+(2)	639,461,048

支出の部	
勘定科目	決算額
人件費支出	406,981,790
事業費支出	64,931,350
事務費支出	49,354,846
就労支援事業支出	3,444,500
その他の支出	469,120
事業活動支出計(3)	525,181,606
固定資産取得支出	3,174,255
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,011,120
施設整備等支出計(4)	4,185,375
積立資産支出	30,986,000
拠点区分間繰入金支出	77,567,000
その他の活動支出計(5)	108,553,000
支出合計 (3)+(4)+(5)	637,919,981

当期資金収支差額合計	1,541,067
前期末支払資金残高	18,285,857
当期末支払資金残高	19,826,924

新

グループホーム 竣工式

令和4年4月27日新グループホーム「ひまわりの家」竣工記念式典が執り行われました。

三木精愛園のグループホームは、平成17年に第1号のホームが民間の一軒家を借りて開設されました。以降、合計5ホームが開設、現在4ホームで19名の利用者が地域生活を送る生活拠点として運営されています。開設から17年経過、開設当初は快適であった生活も時を経るとともに変化し、いかに利用者の安心安全な生活環境を提供できるか課題となっています。

「ひまわりの家」は、三木精愛園に隣接する土地に建設された、7名定員のグループホームです。建物は平屋でバリアフリー化、玄関には手洗い場を設置し感染症予防対策を講じるなど、時代経過、背景とともに様々な変化や課題も顕著となっていますが、より良い利用者支援、より良いサービス環境を整えるため利用者どなたでも安心安全な生活を送っていただけるよう設計されています。

三木精愛園のグループホームには地

域生活を楽しんでいる利用者の笑顔、世話人の心配り、見守りご協力いただいている地域住民の方々。17年前のグループホーム開設当初からなにも変わらず、温かさは引き継がれています。今後も職員一同感謝の気持ちを忘れず、前進してまいりたいと思っております。



口腔ケア



令和3年
10月より、
新たな取り
組みとして、
口腔衛生管
理事業が始
まりました。
毎月2回、
歯科衛生士
さんに利用
者様の口腔
内チェック



と、職員へのブラッシング指導をしていただきます。最初は緊張感でいっぱいでしたが、少しずつ慣れてきて、いろんなグッズを使いながら、状態に応じた口腔ケアができるようになってきました。健康な歯と清潔な口腔内を保ち、利用者様がいつまでも元気に過ごせるよう、取り組みんでいます。



リハビリ



令和2年度から毎月第2第4木曜日に理学療法士によるリハビリ指導を実施して頂いています。対象の利用者様は8名で、それぞれ15分程度個別に実施しています。支援員は理学療法士にアドバイスを頂き、その内容を日々の生活の中に取り入れて支援を行って頂きます。毎回笑顔でリハビリに励む利用者様の姿が印象的でした。令和4年度も利用者様の身体機能が維持できるようにリハビリを行っていきます。



北はりま
障がい者
芸術公募展



生活介護の活動で創作活動を行っている利用者さんのうち鈴木輔さん、河合勝さん、近藤真由美さんの3名の作品を、令和4年3月に西脇市で開催された北はりま障がい者芸術公募展に出展しました。

秋祭り

昨年度は例年とは異なり、秋祭り開催となりました。秋祭りでは秋ならではのBGや様々な種類の催し物があり、夏祭りとは違った雰囲気を出しました。利用者様一人ひとりのペースで楽しい時間を過ごされていました。

また、感染症対策を行いながらご利用者と職員のみでの開催となりました。地域の方々と交流はできませんでしたが、緑が丘町子ども会育成会からゲームをお借りしました。今年度も秋祭りでの開催になりますが、昨年度よりもっと笑顔溢れる笑いの絶えない秋祭りになるよう盛り上げていきます。



忘年会

毎年小野市のパーティー会場にて行っていた忘年会ですが、昨年度も感染症対策のため園内での実施となりました。利用者自治会で食べたいものを募り、「お寿司を食べたい」という希望が多かったの

で、前年もお願いした回転寿司に決定しました。密にならないよう、4グループに分けての開催です。今回はお寿司に加えて揚げ物とケーキも準備し、みなさん好きなお皿を思い思いに取られ、お腹いっぱい食べられました。食後はサンタに扮した職員よりプレゼントを配布し、一年を締めくくる行事を楽しまれました。



鈴木さんの『気持ちは何色?』が最優秀賞、河合さんの『キリン』が奨励賞、近藤さんの『混在の国』が佳作と出展したすべての作品が受賞され、精愛園にて表彰式を行いました。

今年度も各作品展に出展の為、担当職員と協力して意欲的に作成中です。



日常生活の様子



お掃除お掃除♪



綺麗に畳んでます～



いっしょにゴミ捨て、運びます～



歩行訓練、今から歩くぞ！



お昼ご飯の時間です！



朝の散歩、清々しいですね



日光浴、天気がよくて気持ちいい～



園の畑でとれたさつまいもでおやつ作り



ボール遊び、楽しい～



テレビ鑑賞中～



がき氷待ってます



美味しいドーナツ



みんなでラジオ体操！



部品並べ、頑張ってます

2022年度 年間行事計画



※ 新型コロナウイルス感染症にかかる自粛のため変更する場合があります。



幼児期・学齢期からの職業教育

～北播磨障害者就業・生活支援センター～

職場定着支援に力を入れているセンターですが、2年前から「幼児期・学齢期からの職業教育」の必要性を親御さんや特別支援学校の小中学校、小中学校の障害児学級の方の就職事例で、小さいうちから家庭で教えて頂いたことが生きる力や働く力になっている。家庭では手伝いと褒めることで自己肯定感を、学校では係活動と他の生徒さんとの関わりで働く意欲を。親御さんに大人になるイメージを持つてもらえるように取り組みを始めています。



令和4年度 園内研修計画

三木精愛園では、研修委員会のメンバーが中心になり、現場に必要な研修を行えるように年間の研修計画を立て実施しています。利用者様の重度高齢化や障害の多様化に伴う支援力向上。防犯・感染症・虐待防止等の意識向上。利用者様から求められている事は多くあり、今年度も前年度の実績を元に実りある研修を実施していければと思っています。

研修内容	講師
虐待防止研修	外部講師 オンライン等
ノーフティング研修	伝達研修等
個別支援計画勉強会	園内講師
口腔ケア	外部講師
おむつ研修	園内講師等
三木精愛園セミナー	園内講師等
触法研修	園内講師

人の動き

(令和4年8月1日現在)

退職者

板倉 侯子	参事	山田 静子	世話人
宇治橋陽子	支援員	石崎 千春	世話人
森 和行	支援員	守田 敏美	世話人
村上 泰成	支援員	永野 節子	世話人
椿原 豊勝	支援員	黒木 豊子	世話人
松原 君代	看護師		

転出者

宮脇 康司	次長兼総務課長(朝陽ヶ丘荘)
篠塚 隆司	支援課長(西播磨リハ総務部地域支援・研修交流課)
岡野 清子	支援員(小野起生園)
寅屋 淳平	支援員(五色精光園)

転入者

大場 正博	総務課長(あわじ荘)
藤本 美紀	課長(地域支援担当)(総合リハ自立生活訓練部自立生活訓練課)
西村 武	支援員(小野起生園)

新規採用

大川 泰生	支援員
飯田 菜月	支援員
大石あすか	支援員
本間 正泰	支援員
井上 由美	支援員
河井結衣菜	支援員
五百藏智貴	支援員
池袋 重美	世話人
坂本 裕子	世話人
濱本麻記子	支援員
與田 美晴	看護師



ごあいさつ

大場 正博

皆様初めまして。人事異動により4月1日から三木精愛園総務課長として着任しました大場と申します。よろしくお願いたします。

さて、この度の原稿執筆にあたり、施設に保管されている既刊紙に目を通したところ、とても心に響く記事を見つけました。紙面の都合上、詳しい紹介は割愛させていただきましたが、それは保護者の方が記されたものです。ちょっとしたことであっても「誉める」ことが利用者の方の幸せに繋がることを、ご自身のお子様例を上げて具体的に教えてくださっていました。そして、誉めることで良い行動を自発的に継続させるような「誉めパワー」をもって支援して欲しいとの言葉で結ばれていました。

利用者の方も、私たちもみんな「他者から認められたい、自分を価値ある存在として認めたい」という同じ願望を持っています。しかしながら、つい目先の行動にとらわれて、各々の良いところを見過ごしてしまいがちになっているのではないかと自省しています。

すでに着任して四ヶ月が経過し、接する機会があった利用者の方々と、勤務されている職員の方々の良いところをたくさん見つけています。が、もっと意識して今まで見えていなかった長所を発見し、「誉めパワー」を皆様に還元して行きたいと思えます。

苦情解決の窓口

事業所の相談窓口

- ・苦情受付担当者 奥山 穰 藤本 美紀
- ・苦情解決責任者 鰻目とし子
- ・ご利用時間 9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日、年末年始を除く)
- ・電話番号 0794-85-8791
- ・FAX番号 0794-85-5420
- ・FAXの受付は24時間可能です。
- ・担当者が不在の場合は、事務所までお申し出ください。
- ・苦情受付箱を設置していますので、ご利用ください。

社会福祉事業団の相談窓口

- ・所在地 〒651-2134 神戸市西区曙町1070 兵庫県社会福祉事業団事務局
- ・ご利用時間 9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日、年末年始を除く)
- ・電話番号 078-929-5655
- ・FAX番号 078-929-5688
- ・FAXの受付は24時間可能です。

編集後記

ひまわりの家のご利用者が朝と夕に事務所の横を日課で歩かれています。ガラス越しに手を振ったり、時にはおしゃべりしたり：
今ではずーっと前からそこにあつたような日常の一コマとなっています。きつと幸せのタネはこんなふうにして運ばれてくるのかもしれないね。
これからも小さな幸せを大切にできる精愛園であるとともに、遠く離れた争いの地に暮らす人々に幸せと笑顔が早く戻りますように：